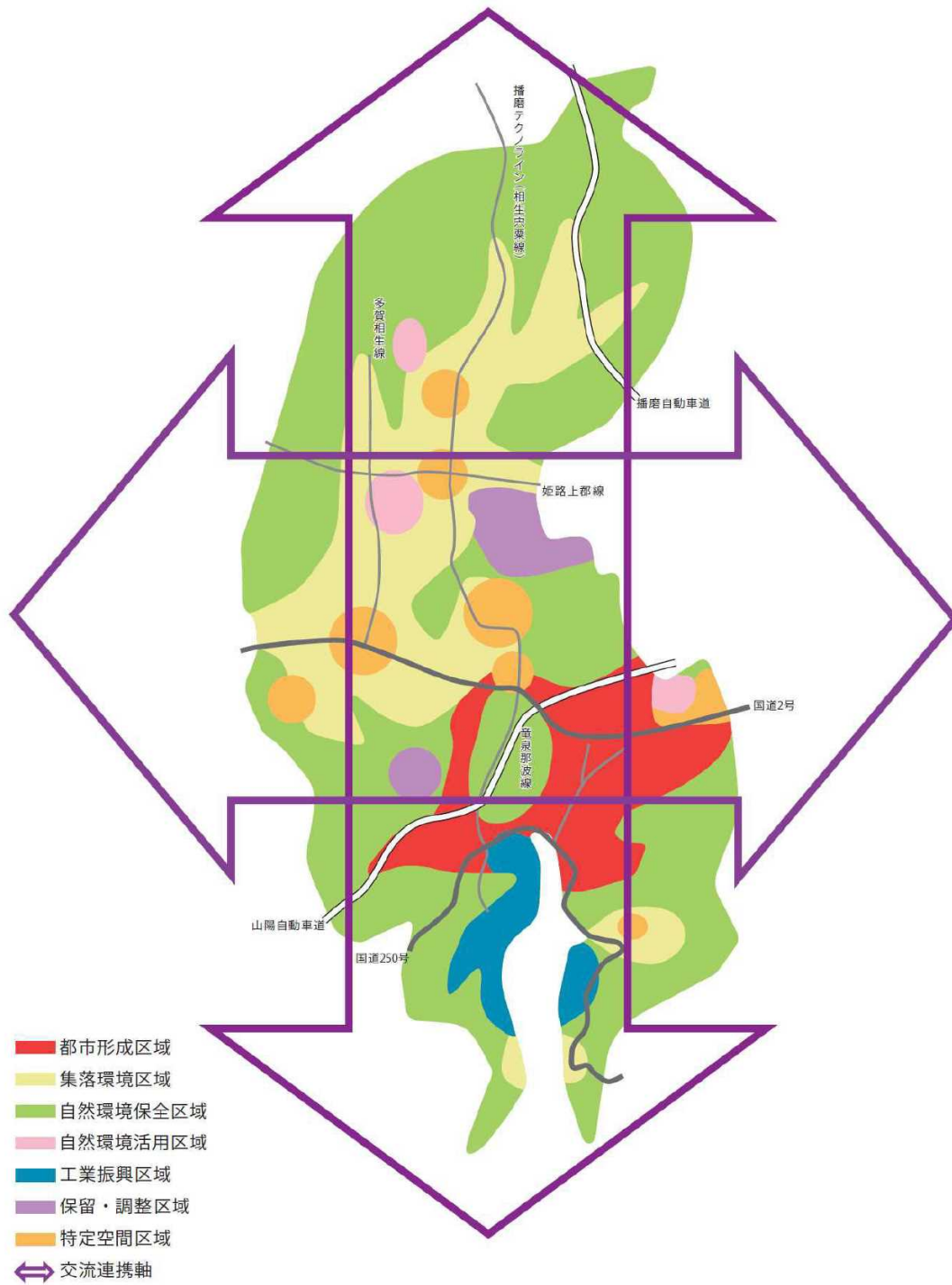


第 4 章 上位・関連計画の概要

4-1 第 6 次相生市総合計画

将来像	いのち輝き 絆ひろがる あいのまち
計画期間	基本構想：令和 3 年度～令和 12 年度 前期基本計画：令和 3 年度～令和 7 年度 後期基本計画：令和 8 年度～令和 12 年度
まちづくり目標	○未来を担う人と文化を育むまち ○安心して暮らせる、強くしなやかなまち ○健やかな暮らしを守り支え合うまち ○心地よい生活環境が保たれたまち ○暮らしを支える都市機能の整ったまち ○まちづくりを進める土台を強化する
公共交通に関する事項	第 4 章 心地よい生活環境が保たれたまち 第 2 節 活気のあるまちづくり 基本施策 4-2-1 安心して生活できる環境の整備 基本方針：JR 相生駅の機能を十分に発揮するとともに、路線バスを維持し、高齢者をはじめとした交通弱者のニーズに即した交通施策の実施 取組事項：市、市民及び交通事業者が一体となり、持続可能な公共交通のあり方の検討 路線バスの路線及び便数の維持を図るため、路線バスの利便性の向上及び乗車促進活動の実施

【土地利用構想図】

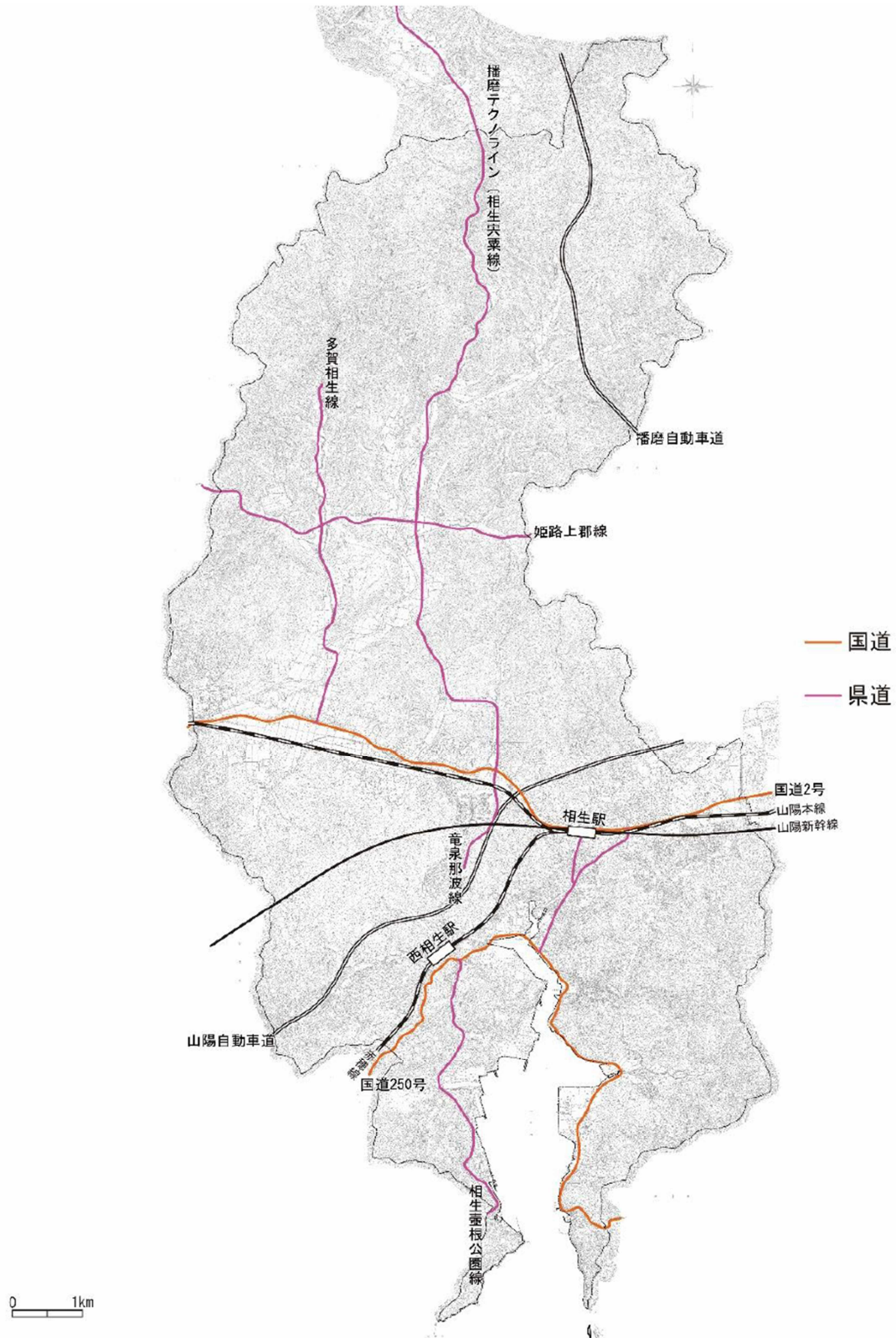


出典：第6次相生市総合計画

4-2 第2次相生市都市計画マスタープラン

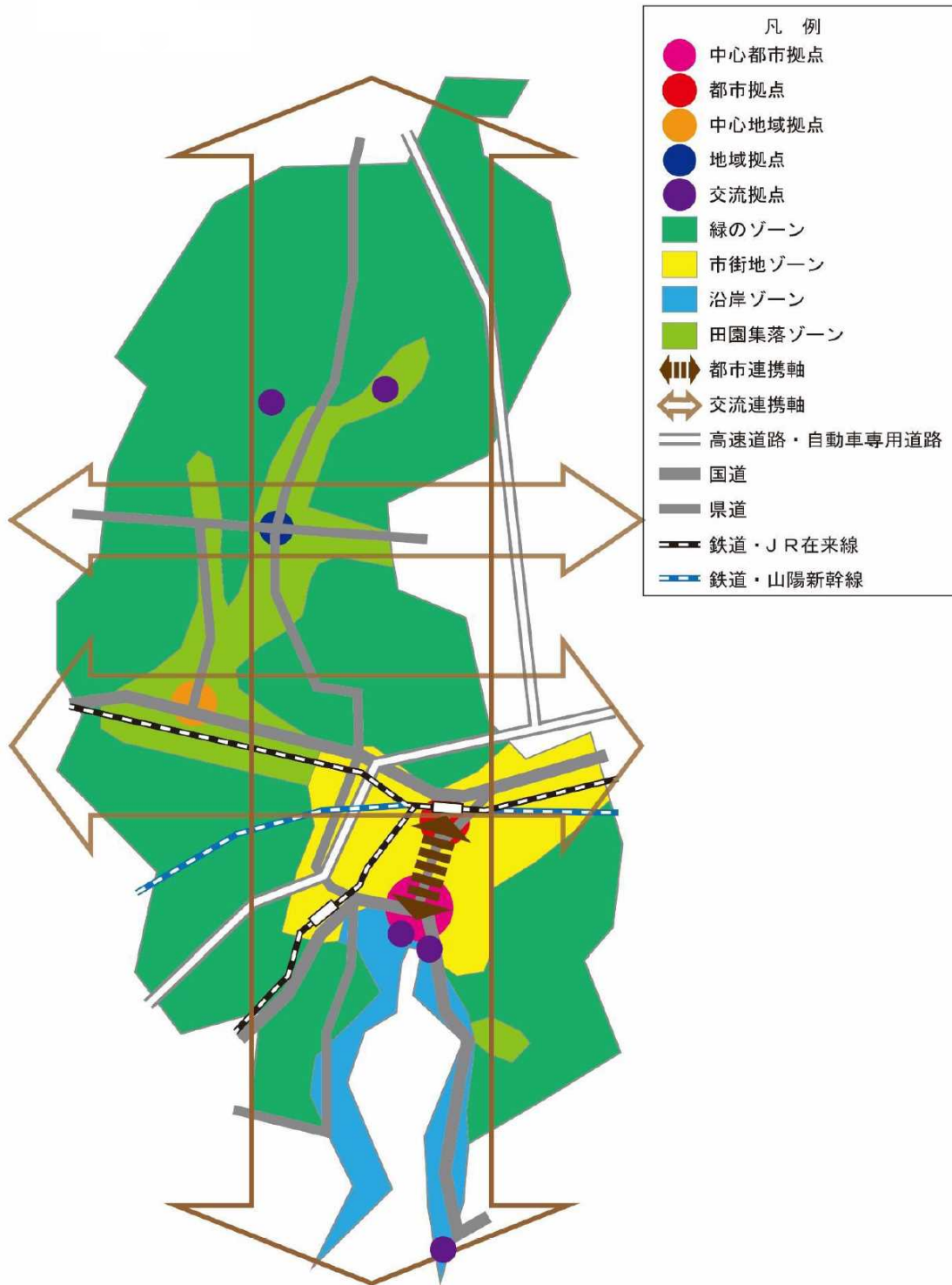
目標年次	令和18年
目指すべき都市像	いつまでも住み続けたい、活力あふれるまち
都市作りのテーマ	○市の活力向上、まちのにぎわいづくり ○持続可能で良好な住環境、集落環境づくり ○地域資源・ストックの有効活用
将来の都市構造	市内各地域の中心部を都市機能の中心的役割を果たす「拠点」とし、それらを結びつける「軸」、その地域にふさわしい土地利用を示す「ゾーン」の3つの要素による都市構造の設定を行います。 また、市役所周辺を本市の中心的役割を果たす中心都市拠点、本市及び播磨科学公園都市の玄関口となるJR相生駅周辺を交通連結点が密集する都市拠点とし、これらをはじめとした拠点到都市機能を集約させるとともに、これらを交通ネットワークにより連携強化する形の都市構造を目指します。
公共交通に関する事項	都市づくりの課題：交通ネットワークの充実を図ることで、市内外の連携・交流活動を促進することの必要性 整備方針：鉄道・バスなどの交通ネットワークについては、維持管理を推進し、適切な交通体系の形成を図る。 取組事項：JR相生駅におけるバス・タクシーへの乗り換えなど、公共交通の利便性の向上を図る。 交通不便地においては、地域住民の移動手段の確保を図る。

【交通網図（相生市）】



出典：第2次相生市都市計画マスタープラン

【都市構造図】



出典：第2次相生市都市計画マスタープラン

4-3 第2次相生市地域福祉計画

計画期間	平成30年度～令和4年度
基本理念	助けあい、支えあい 絆をつなぐ あいのまち
基本目標	○そだてよう！ ～支えあいの意識と担い手づくり～ ○つなごう！ ～地域共生の福祉ネットワーク～ ○まもろう！ ～安全・安心な暮らしと地域社会～ ○つくろう！ ～適正なサービスと福祉の基盤～
公共交通に関する事項	基本目標4：つくろう！ ～適正なサービスと福祉の基盤～ 基本施策：社会参加のための基盤づくり 取組事項：高齢者や障害のある人などの移動に際して、バス、タクシーなどの交通機関と連携し、利用者のニーズに対応した利便性の高い公共交通システムの確保に努める。